

ナウマン通信



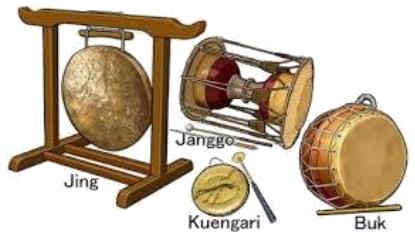
2020年
12月14日発行
第27号

大阪市立我孫子南中学校

みんな違ってみんないい

今日の全校集会でもお話ししましたが、土曜授業で行った鑑賞行事「チュモニの会」の公演はどうでしたか。終わってからソンセンニムにお礼を言いに行ったときに「みんなよく聞いてくれていた。すごく視線を感じた」とおほめの言葉をいただきました。校長先生も今まで何度もみんなの前でお話を来てきましたが、本当に多くの人の視線を感じています。それはみんなが話している人が何を言おうとしているのか真剣に聞いているからだと思います。そのことを学校以外の人におほめられて本当にうれしく思います。

さて、今回の公演でみんなが何を感じたか気になります。劇が上手やったなあと扇の舞がきれいだったなあと楽器演奏が迫力あったなあということだけで終わっていませんか。本当にソンセンニムたちが伝えたかったことは何かわかりましたか。韓国・朝鮮の人たちが差別や偏見と闘いながらこの日本という国で生活しています。それ以外にもみんなの周りには様々なルーツを持つ人たちが生活しています。これからも様々な人たちと出会っていきます。その時にどんなかかわりをしていきますか。そのことをよく考えてほしいと思います。もっと言えばみんなにもそれぞれルーツがあります。生まれ育ったところも親も育ってきた環境もみんな違います。見た目も能力も性格も誰一人同じ人はいません。男女の違いもあります。だからこそ『みんな違ってみんないい』のです。我孫子南中学校にも民族学級があります。



今年の始まりの時に校長先生は民族学級の生徒にこんな話をしました。「自分のルーツを大切にして欲しい。自分のルーツに誇りを持って欲しい。そうなるために民族学級で様々なことを学んで欲しい。校長先生は人からあなたの国籍は?と聞かれたら間違いなく日本と答えます。でも、気持ちとしては**地球**と答えたいと思っていますどんな人にも同じように接していく、そんな**地球人**になりたいと思ってきたし、そういう風に生きてきました。これからもそうしていこうと思います。みんなにも周りの人を大切にするあったかい人になってほしいと思います」と・・・・。。。

どうかみんなもあったかい気持ちで周りの人を大切にできる人になってください。

さあ！2学期もあとわずか、最後まで頑張りましょう！応援しています。